

科目	伴侶動物学 (犬学・猫学)		
担当講師 大塚 敦子 実務経験有 統一認定動物看護師 動物病院勤務歴 20 年			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1 年次前期	講義	必修	30
授業目標 犬種、猫種による違いとその飼育目的を理解し、それぞれの特徴とその目的を学ぶ。家畜化された以降の歴史、文学、芸術上に表れた人間との関係、各種の特徴、行動、役用犬の役割、猫の特性、飼育、しつけ健康管理を理解する。			
授業概要 犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。			
教 材 動物看護コアテキスト 4 巻 動物の行動と健康管理 (P2～29 ファームプレス)、トレーニング学 ペット社会学 (日本ペットビジネススクール協会)、犬種図鑑、猫種図鑑 (緑書房)			
授業計画 毎週木曜日 2 限目 10:50～12:20			
回	テーマ	授業内容	
1	イヌとネコの歴史、家畜化	歴史、家畜化された理由、時期、現在における役割	
2	犬種による違いとその目的	犬種の用途やルーツによるグループ分け ①	
3	〃	〃 ②	
4	猫種による違いとその目的	主な猫種の歴史と特徴	
5	イヌ、ネコのコミュニケーション行動	イヌ、ネコのコミュニケーション行動の種類	
6	〃	ボディランゲージ、カーミングシグナル	
7	ネコの日常生活に必要なしつけ、トレーニング	ネコの基本的なしつけ、トレーニングについて学ぶ 飼い主指導に活かす	
8	〃	〃	
9	問題行動	問題行動の定義と原因	
10	〃	行動診療の手順、治療と解決のプロセス	
11	〃	イヌ、ネコの攻撃行動、恐怖、不安行動	
12	〃	イヌ、ネコの恐怖、不安行動	
13	〃	イヌ、ネコのその他の問題行動およびそれぞれ特有のもの	
14	まとめ	適正な飼養とはどういうことかを考える	